

天龍の子ら

令和6年12月25日 No.10 天龍小学校・天龍中学校

84日間の長い2学期が終わりました。2学期には、譲葉祭、小中合同音楽会、都市連合音楽会への参加、村文化祭など小中合同で行った行事、森林レポリューション、天龍ピカピカ大作戦など小中別々に行った行事、緑ヶ丘中学校との交流や三小合同学習など様々な交流学習が行われました。また、ふるさとタイムやみどりの少年団の活動など地域の方と交流する活動も多く行われました。それらの活動を通して、子ども達は、教科学習の学びとは違い、様々な方と関わり、触れ合い、学力だけでなく生きる力を育むことができ、大きく成長できたように思います。12月9、10日に行われた個人懇談会の中で子どもたちの成長については担任と共有できたことと思います。



明日から1月7日(火)まで冬休みです。年末年始は家族で過ごす時間が多くなると思います。冬休みならではの行事が多くあります。家族みんなで楽しい時間が持てるといいですね。楽しむときは楽しみ、やるべきことはしっかりやり、充実した冬休みを送ってほしいと思います。

また、2学期も保護者、地域の皆様のご協力、ご支援のおかげで無事に終わることができました。本当にありがとうございました。学年末となる3学期もよろしくお願いいたします。



人権教育に関わる校長講話

【ふきのとうの饞別 著:毛涯章平 より】

私はこの頃、学校の玄関の廊下を通るときに、外に置いてある植木鉢に日が当たって、花がしおれているのに気づきました。そこで、鉢を日陰に入れてやろうと思って、下駄箱から靴を出そうとしました。すると「面倒だな。このまま出てもいいや」と誰かが言うではありませんか。私は早速上履きのままでコンクリートの庭へ降りようと思いました。ところが、今度は「いけない。そこは上履きで降りる所じゃないじゃないか」と誰かの声がするのです。私は「そうだ。ここは四年生が毎日掃除をしてくれる所だったな」そう思って、また靴を出そうとしました。すると、また、こういう声がするのです。「大丈夫だよ。鉢は外に出て 5、6 歩の所じゃないか。履いたり脱いだり面倒だよ」と。私は「そうだとも、すぐそこまでなんだから」と思って一足おろしかけました。その時です。今度は少し怒ったような声でした。「冗談じゃない！ みんなの決まりじゃないか。早く靴に履き替えろよ」これには私もどきとして「本当だ。約束は守らなくちゃ」と考えて、今度こそ靴を取り出そうと下駄箱に手を近づけました。するとどうでしょう。もう、すっかり決めてしまったというように、誰かがこう言うのです。「いいんだ、いいんだ。君は今、忙しいのだし、第一誰も見ちゃいけないじゃないか。それに下はコンクリートだから、これぐらいでは廊下は汚れやしないよ。さあ、行った行った」これを聞いて、私はとうとう上履きのままで玄関のコンクリートに降り、鉢を日陰に入れてそのまま廊下へ上がってきました。どうも、私のお腹の中には、白い虫と黒い虫がいて、いつも争っているようです。ここでいう白い虫というのは「自分の心の中の良い心」のことで、黒い虫というのは「自分自身の中の悪い心」のことをさします。さっき「上履きのまま、出たっていいじゃないか」と言っていたのは黒い虫の方で「いけない、いけない」と言っていた方が白い虫です。この二匹の虫が争って、さっきは黒い虫の方が勝ったのです。「これぐらいはごまかしておこう」「しめしめ、誰もみていないぞ」「うそを言っても、わかるものか」「勉強は嫌だ。お使いも嫌だ。歯磨きなんかめんどうくさい」などと言っているのは、みんな黒い虫の勢いがいいときですね。「最後まで、頑張ってやり遂げよう」「正直に本当のことを話そう」「嫌だけど、決めたことは元気を出してしっかりやろう」と言ってくれるのは白い虫の方ですね。私たちは、一生この白い虫と黒い虫の戦いを続けていかねばならないと思います。いくつになっても、黒い虫が勢いのよい時がありますが、最後に、白い虫の方が、少し強かったという人生を送りたいと思います。それには、時々、お腹の中の両方の虫の声を静かに聞くことが大事だと思います。お話は以上です。皆さんはどう思いましたか。人は弱いものです。いつも白い虫が強いとは限りません。黒い虫の方が強いこともあります。それは私も同じです。しかし、毛涯先生がおっしゃったように「最後に白い虫の方が少し強かった」という生き方をしていきたいと思います。そのために、自分のお腹の白い虫と黒い虫の両方の声を静かに聞いていきたいです。

何か行動するには、常に自分の判断があります。この話を聴いて、葛藤しながらも少しでもよい判断ができる子どもたちになってほしいと願っています。

【宮澤章二 「行為の意味」より】

-あなたの〈ころ〉はどんな形ですか 自分にも他人にも〈ころ〉は見えないけれど 確かに〈ころ〉はだれにも見えないけれど それは 人に対する積極的な行為だから 〈思いやり〉はだれにでも見える あたたかい心が あたたかい行為になり 〈心〉も〈思い〉も 初めて美しく生きる	ひとに聞かれても答えようがない ほんとうに見えないのであろうか 〈ころづかい〉は見えるのだ 同じように胸の中の〈思い〉は見えないけれど それも人に対する積極的な行為なのだから やさしい思いが やさしい行為となるとき -それは 人が人として生きることだ
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

誰もが優しい気持ちを持っていると思います。ただ、思っているだけでは誰にも伝わりません。思ったこと、考えたことを行動に移せる子どもたちになってほしいと願っています。

学校全体鬼ごっこ「3体のハンターから天龍小中学校を守れ!!」

12月2日(月)に児童会新企画の学校全体鬼ごっこを行いました。遠山児童会長を中心に「何か小中一緒にやってみたい」という願いからこの企画が動き出し、校舎と体育館全体を使って「鬼ごっこ」をしようということになりました。危険回避のため、「階段は走らない。」「右側通行で逃げる」などを考え、タッチされても見逃してもらえるカードなども工夫して考え、怪盗 DX が放った3体のハンター(二之宮先生、井原先生、野竹)からみんなで逃げました。初めての企画でしたが、ものすごく盛り上がり、誰もが楽しかったようです。ハンター3人は、走りすぎで翌日筋肉痛に見舞われていました。企画した6年生はとても満足し、やりとげた思いがいっぱいという表情が印象的でした。これからも可能な限り児童生徒の「やりたい」を大切にしていきたいと思っています。



その他の活動

<p>おやす・しめなわ・餅つき大会 伝統を学び、お世話になった方と会食</p>	<p>やきいも大会 美味しい焼き芋を保小中で食べました。</p>	<p>海外とオンライン交流 ポルトガルの方と中1とオンライン授業</p>
---------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------

《書き損じハガキ集めへのご協力をお願いいたします》

年末といえば年賀状を書く時期かと思えます。(以前に比べると減ってきているようですが)そこで、ユネスコ協会が行っている世界寺子屋支援として書き損じハガキ集めへのご協力をお願いいたします。14枚の未使用のハガキが集まると子ども1人が1ヶ月学校に通って学習ができるそうです。1月31日まで収集をしますので、1枚でもよいです。収集へのご協力をお願いします。昔のでも OK です。



**1月8日(水)からみんな笑顔で3学期スタートしよう。
 よいお年をお迎えください。2025 年は巳年です。**